

創造の源泉

菱田春草 の スケッチ



羅浮仙下絵(部分) 個人蔵(本館寄託)



仙女(靈昭女)
明治43年(1910) 個人蔵



靈昭女下絵(部分) 個人蔵(本館寄託)

美術講座 平成27年3月22日(日) 午後1時30分～

「春草の落款と作品」

講師：鶴見香織 氏 (東京国立近代美術館主任研究員)

「春草の扣帳と作品」

講師：小島 淳 (本館学芸員)

特別講演会 平成27年4月5日(日) 午後1時30分～

「スケッチからみる春草の自然観照」

講師：滝沢具幸 (本館館長)

※いずれも聴講無料

平成27年

3月21日[土] - 4月19日[日]

開館時間 | 午前9時30分 - 午後5時

休館日 | 月曜日

観覧料 | 一般 500円 (400円)

高校生 300円 (250円)

小中学生 200円 (150円)

※()内は20人以上の団体料金

主催 | 飯田市美術館

ギャラリートーク(本館学芸員)

■ 4月4日(土) 午後1時30分～
「落葉」の散歩道

■ 4月18日(土) 午後1時30分～
「雨中美人」への招待

飯田市美術館

〒395-0034 飯田市追手町2-655-7
TEL.0265-22-8118 FAX.0265-22-5252
<http://www.iida-museum.org/>

創造の源泉

菱田春草 の スケッチ

明治7年(1874)に飯田で生まれた春草は、岡倉天心のもとで日本画の近代化に尽くしました。そして《落葉》や《黒き猫》など数々の名品を手がけ、明治44年(1911)に満36歳という若さで世を去るのです。

春草といえども、いきなり名品を描くことはできません。その背後には膨大な量のスケッチ、様々な構想の下絵が作られていました。今回の展示ではこのスケッチと下絵の全貌を一堂に会します。初公開を含むこれら資料を通じて、春草の制作過程、そして彼の芸術観や自然観を辿っていきます。



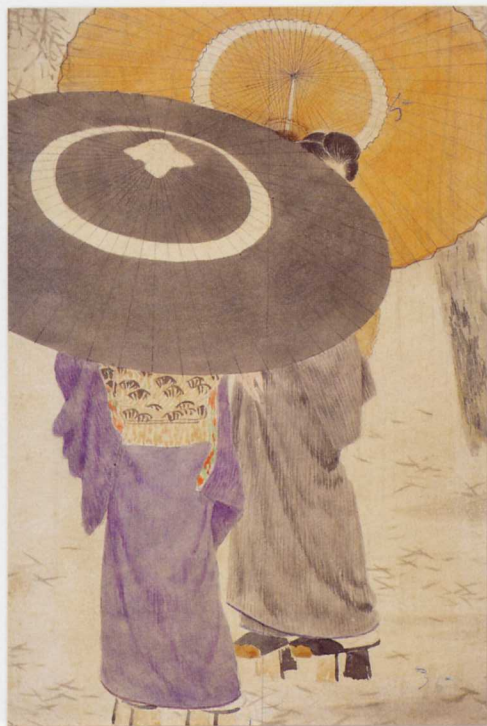
写生(カエデ)
明治43年(1910) 個人蔵(本館寄託)



写生(ヤツデ)
明治43年(1910) 個人蔵(本館寄託)



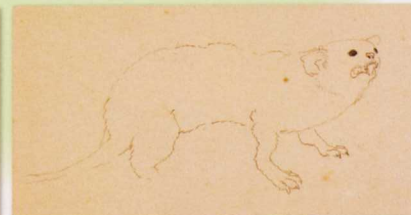
春秋 明治43年(1910) 飯田市美術博物館蔵



雨中美人下絵 個人蔵(本館寄託)



写生(アオバト) 明治43年(1910) 個人蔵(本館寄託)



写生(イタチ) 明治43年(1910) 個人蔵(本館寄託)

飯田市美術博物館

〒395-0034 飯田市追手町2-655-7
TEL.0265-22-8118 FAX.0265-22-5252 <http://www.iida-museum.org/>

JR飯田線飯田駅から 徒歩20分 ● 中央高速バス飯田商工会館から 徒歩5分 ● 中央自動車道飯田I.C.から 車15分



リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。